

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第90回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時：2025 年 9月 26 日（金）13:30 ～ 14:45

2. 場 所：WebexによるWeb会議

3. 出席者（順不同、敬称略）

委員）中野（信）、莊田、榎菌、中浜、中野（佑）、曾根、梅原、前田（長嶺委員代理）

以上 8名

常時参加者）西村、山崎 以上 2名

オブザーバ）松久 以上 1名

4. 配布資料

【P11PWG90-0】	第 90 回 PWR 水化学管理指針作業会議事次第
【P11PWG90-1】	第 89 回 PWR 水化学管理指針作業会議事録案
【P11PWG90-2-1】	PWR 一次系水化学管理指針改定案
【P11PWG90-2-2-1】	PWR 一次系水化学管理指針改定 新旧比較表（本文）
【P11PWG90-2-2-2】	PWR 一次系水化学管理指針改定 新旧比較表（附属書 B）
【P11PWG90-2-2-3】	PWR 一次系水化学管理指針改定 新旧比較表（附属書 E）
【P11PWG90-2-2-4】	PWR 一次系水化学管理指針改定 新旧比較表（附属書 F）
【P11PWG90-2-2-5】	PWR 一次系水化学管理指針改定 新旧比較表（附属書 G～I）
【P11PWG90-2-2-3】	PWR 一次系水化学管理指針改定 新旧比較表（解説）
【P11PWG90-2-3】	PWR 一次系水化学管理指針改定 コメント対応一覧表
【P11PWG90-2-4】	PWR 一次系水化学管理指針改定案 標準委員会向け本報告案
【P11PWG90-2-5】	PWR 一次系水化学管理指針改定原案書面投票結果
【P11PWG90-3】	PWR 二次系水化学管理指針改定 補助蒸気系統の水質管理（案）
【P11PWG90-4】	用語辞典
【P11PWG90-5】	ISO 規格意見書回答報告

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

榎菌幹事より出席者の確認があった。委員8名の出席を確認し、本作業会は成立することが確認された。

(2) 前回議事録確認

榎菌幹事より、資料P11PWG90-1「第89回PWR水化学管理指針作業会議事録(案)」について確認があった。作業会終了までに出席者からのコメント・修正は無く、正式版として承認された。

(3) PWR一次系水化学管理指針の改定について

前田常時参加者より、資料P11PWG90-2-5「PWR一次系水化学管理指針改定原案書面投票結果」に基づき、改定原案がシステム安全専門部会の書面投票にて承認されたことが報告された。続けて、前田常時参加者より、資料P11PWG90-2-1「PWR一次系水化学管理指針改定案」および資料P11PWG90-2-3「PWR一次系水化学管理指針改定 コメント対応一覧表」に基づき、各委員から寄せられたコメントの修正方針について説明があった。出席者からの主な意見は次の通り。

- ・ コメントNo. 92 4.2.1.3項「アクションレベル」の説明において「プラント設備の健全性確保」とあるが、前段の4.1項での記載は「健全性維持」と記載が異なる点について、アクションレベルの説明では水質が悪化したタイミングでの健全性を確保するという意味での使い分けも考えられるが、アクションレベル設定の意図は長期的に健全性を維持することが目的であることから、「健全性維持」に統一することとした。
- ・ コメントNo. 94 表5のほう素同位体比の測定頻度の記載に関する注記は、表5が対象としている原子炉一次冷却材温度82℃未満の期間はその他の起動操作・停止操作中の期間と比較してやや長い期間の測定頻度の説明として、特別に記載したものであるが、他の項目と同様に附属書Fでも同様の記載であり、他表との整合性の観点から表5の注記は削除することとした。
- ・ JIS Z 4001廃止対応については、経過措置とする旨の記載の文案をBWR指針や学会事務局に文例を確認することとした。

修正方針は合意された。また、次回のシステム安全専門部会の説明に向けて水化学管理分科会にて審議いただくとともに、委員・常時参加者にて指針改定案のレビューを10/17目途に実施することとした。

続けて、前田常時参加者から、資料P11PWG90-2-4「PWR一次系水化学管理指針改定案 標準委員会向け本報告案」について説明があり、12月に予定されている標準委員会向け説明資料として了承を得た。

(4) PWR二次系水化学管理指針の改定について

莊田副主査より、資料P11PWG90-3「PWR二次系水化学管理指針改定 補助蒸気系統の水質管理（案）」に関し、前回コメントである具体的な管理値の記載を避けた考え方を示す文案について説明があった。出席者からの主な意見は次の通り。

- ・ 11.6.1章の「ETA処理の場合は2次系補給水とする」とは、高ETA処理は含まず、高pH処理（高アンモニア、高ETA）に含まれることを確認した。
- ・ 11.6.3章の「りん酸塩処理等遊離アルカリ等の不純物を持ち込む可能性がある水処理剤は使用しない」については、“等”が続くため、表現を見直すこととする。

修正案は合意され、10/1分科会にて審議いただくこととした。

(5) 用語辞典の見直しについて

中野主査より、資料P11PWG90-4「用語辞典」について説明があった。ほう素同位体比等の水化学関連標準に記載のある用語を追加すること、水化学関連標準の記載にあわせて誤記修正し、学会事務局に回答することとなった。

(6) ISO/NP 26047 及び ISO/NP 26050意見書回答について

中野主査より、P11PWG90-5「ISO規格意見書回答報告」に基づき、分科会のコメントや英文を追記したうえで電気協会に対して回答がなされたことが報告された。

(7) その他

- ・ 次回作業会は、分科会の審議結果もふまえ、システム安全専門部会前に開催することとしたが、具体的な日程は別途調整することとした。

以 上